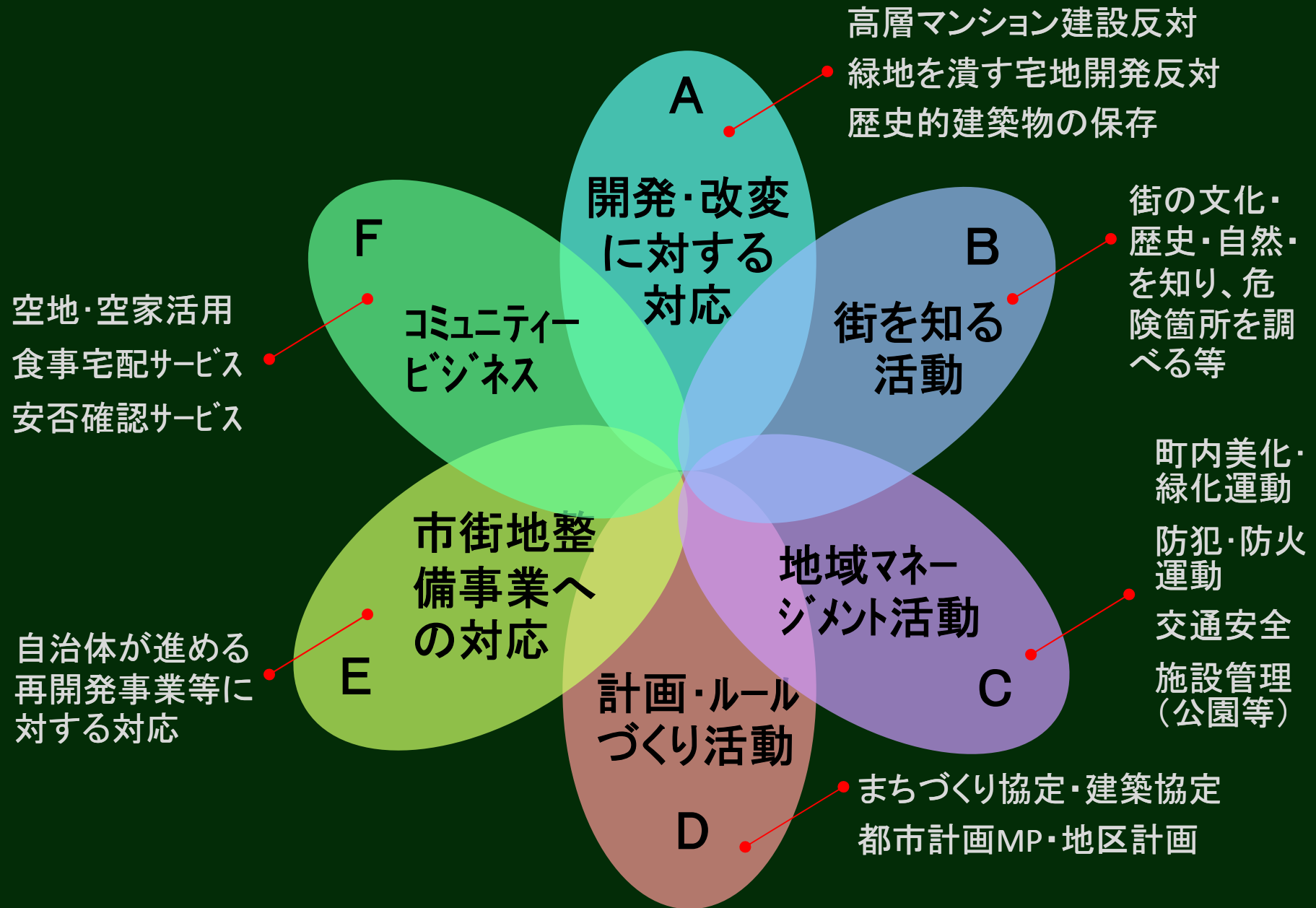


区民が主役のまちづくり ～区民にとっての都市マスタープラン～

2015.01.18

C-まち計画室 柳沢 厚
(日本都市計画家協会理事)

都市計画・まちづくりと市民活動の関わり



都市計画・まちづくりの価値観の変遷

明治……大正……昭和20年……高度成長期……バブル期……

(国威発揚)

(防火、衛生) (防 空)

(安全、衛生、効率)

(快適、環境) (地球環境・アイデンティティー)

(コミュニティ)

道路、河川、下水道、公園等の公共施設整備

市民との協働

民間の投資活動の規制・誘導

現断面の価値観

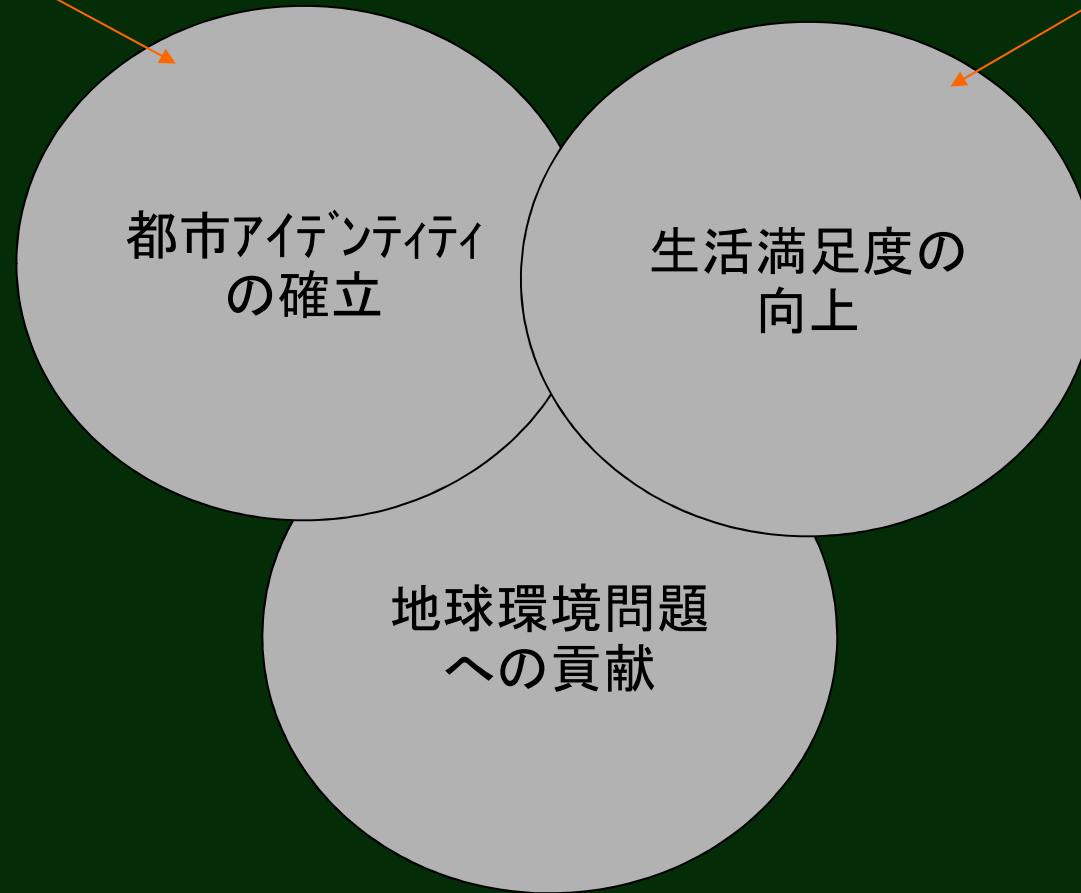
精神的な豊かさ

物質的な豊かさ

都市アイデンティティ
の確立

生活満足度の
向上

地球環境問題
への貢献



公共投資(道路・公園・上下水道・河川改修等)

土地利用・建築規制(開発許可・建築確認)

市街地開発事業(区画整理事業・再開発事業)

安全
衛生
効率
快適

生活満足度の向上

物質的な豊かさ



これからのテーマ

- ・都市の構造→コンパクト化が流行(少し注意が必要)
- ・公共施設の再編、維持管理→維持コストの削減策
- ・低炭素化→建築計画等における配慮

地球環境問題への貢献

それは何？／そんなに重要？

精神的な豊かさ

都市アイデンティティーの
確立

その都市、その地区を他から識別できる「何か」
そこに住み・働くことの張合いを支える「何か」

郷土(自分が住んでいるところ)について、思いをこめて語りうる何か(詩)を持てること
それが重要

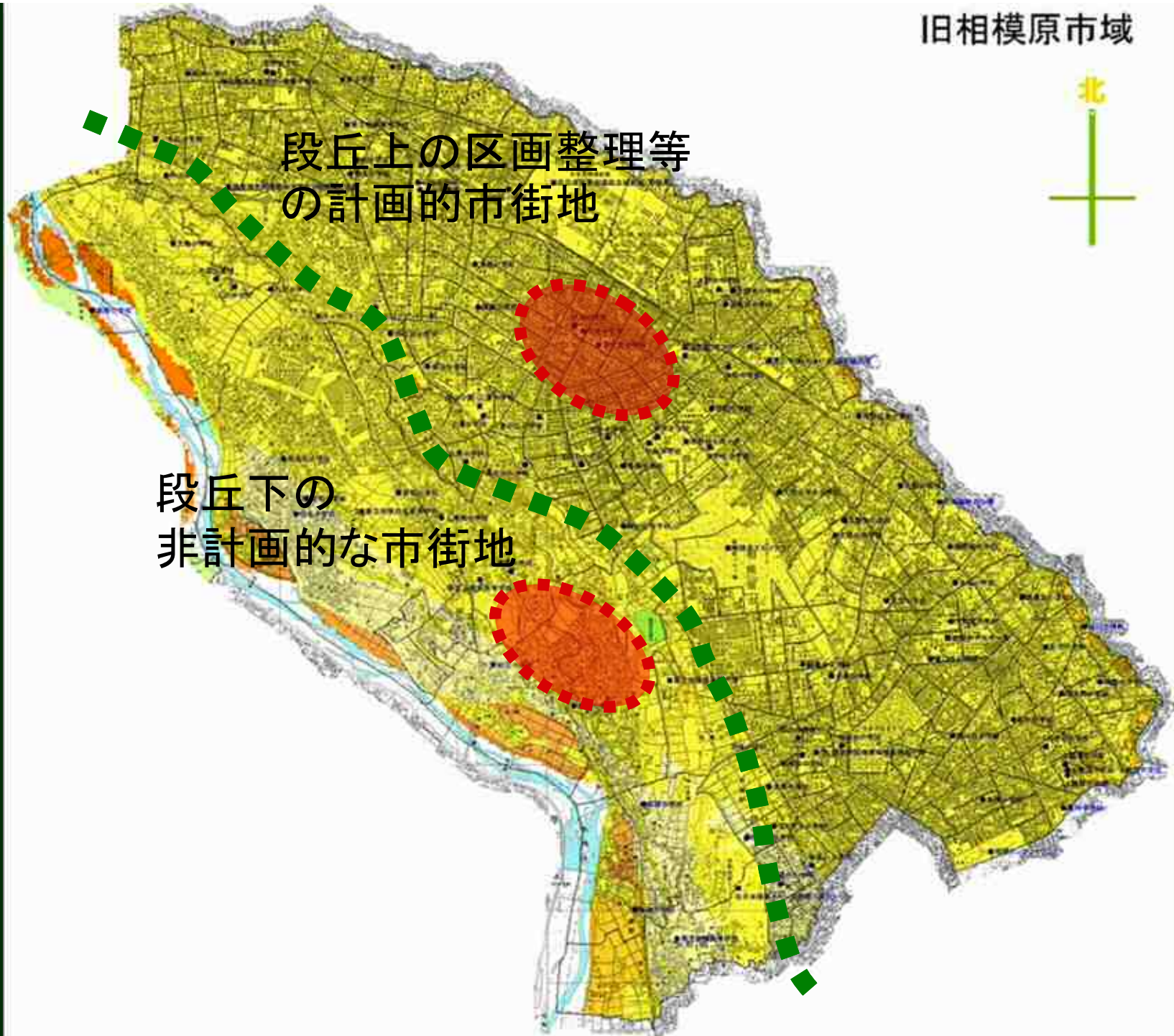
戦後日本の都市計画を支えた石川栄耀は、次のような言葉を残している。

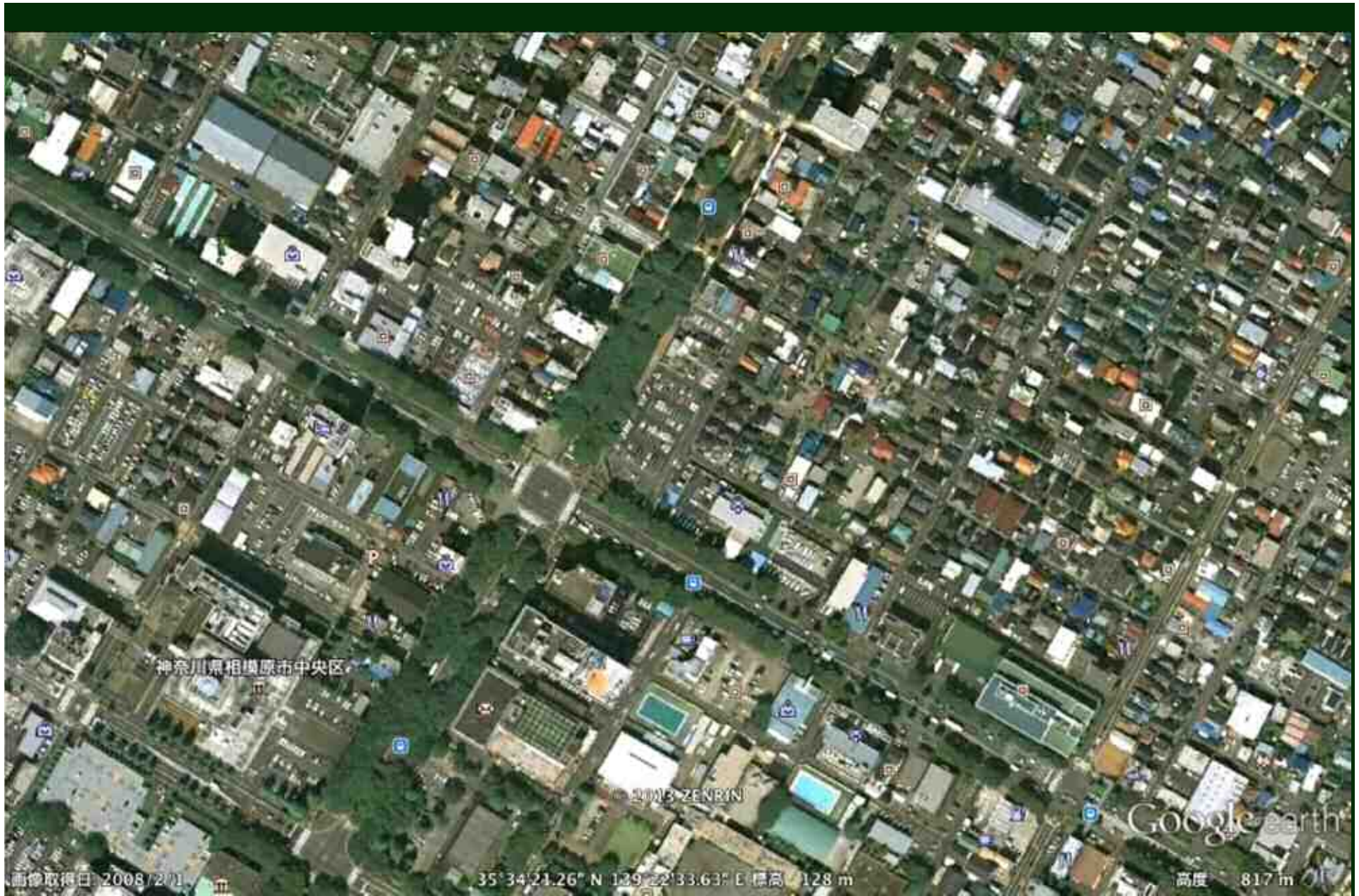
「都市をつくるということは、我々の郷土をつくることである。郷土をつくるとは何か、私は結局、詩であると思う。」



段丘上の区画整理等
の計画的市街地

段丘下の
非計画的な市街地





整然とした街並／街路樹も豊か



立派な並木道



地区の“クセ”がない



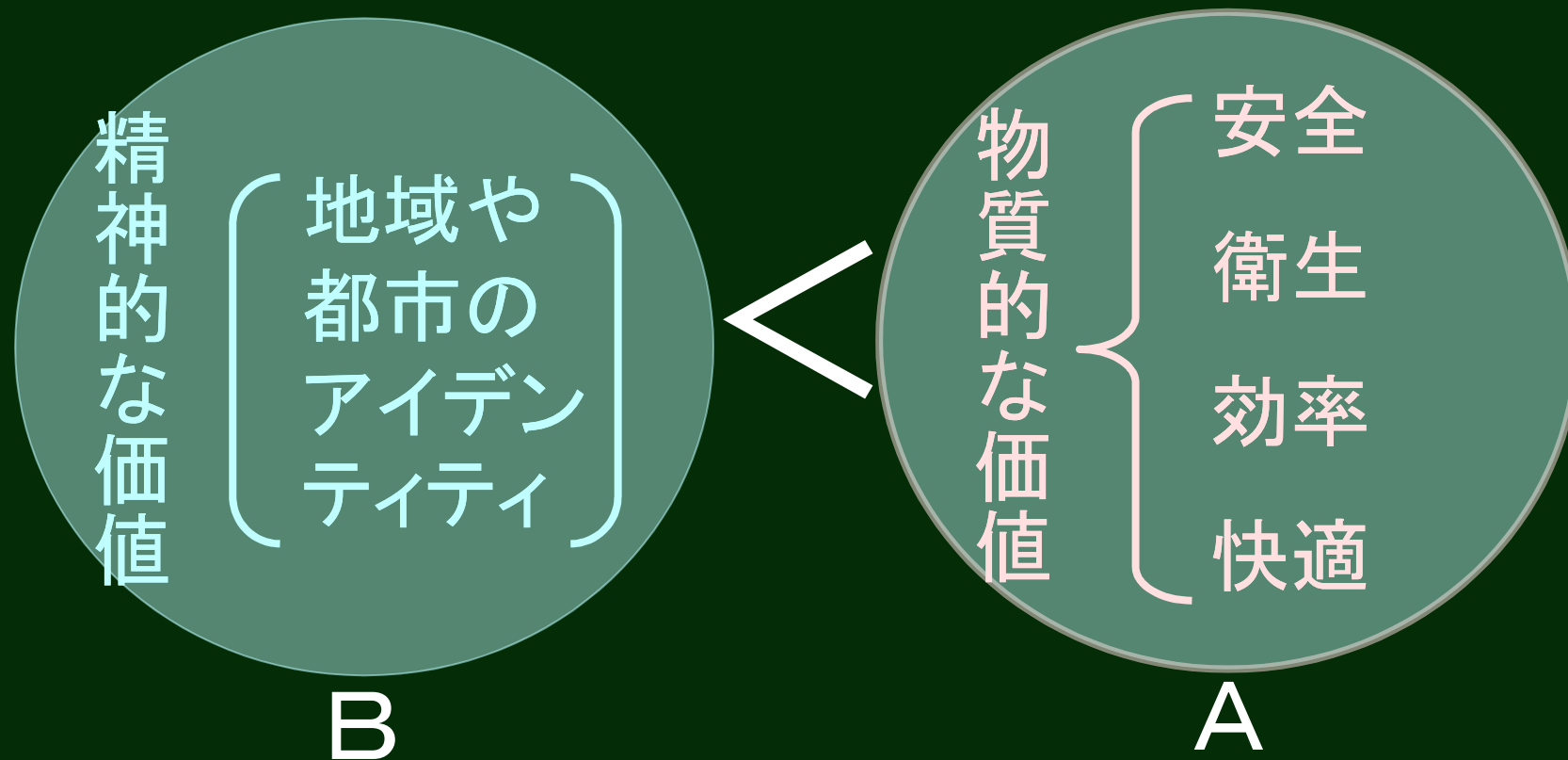
地形や道路パターンに“クセ”がある



画面左は、相模川の河岸段丘(緑地)



道や施設に歴史的経緯(物語)がある

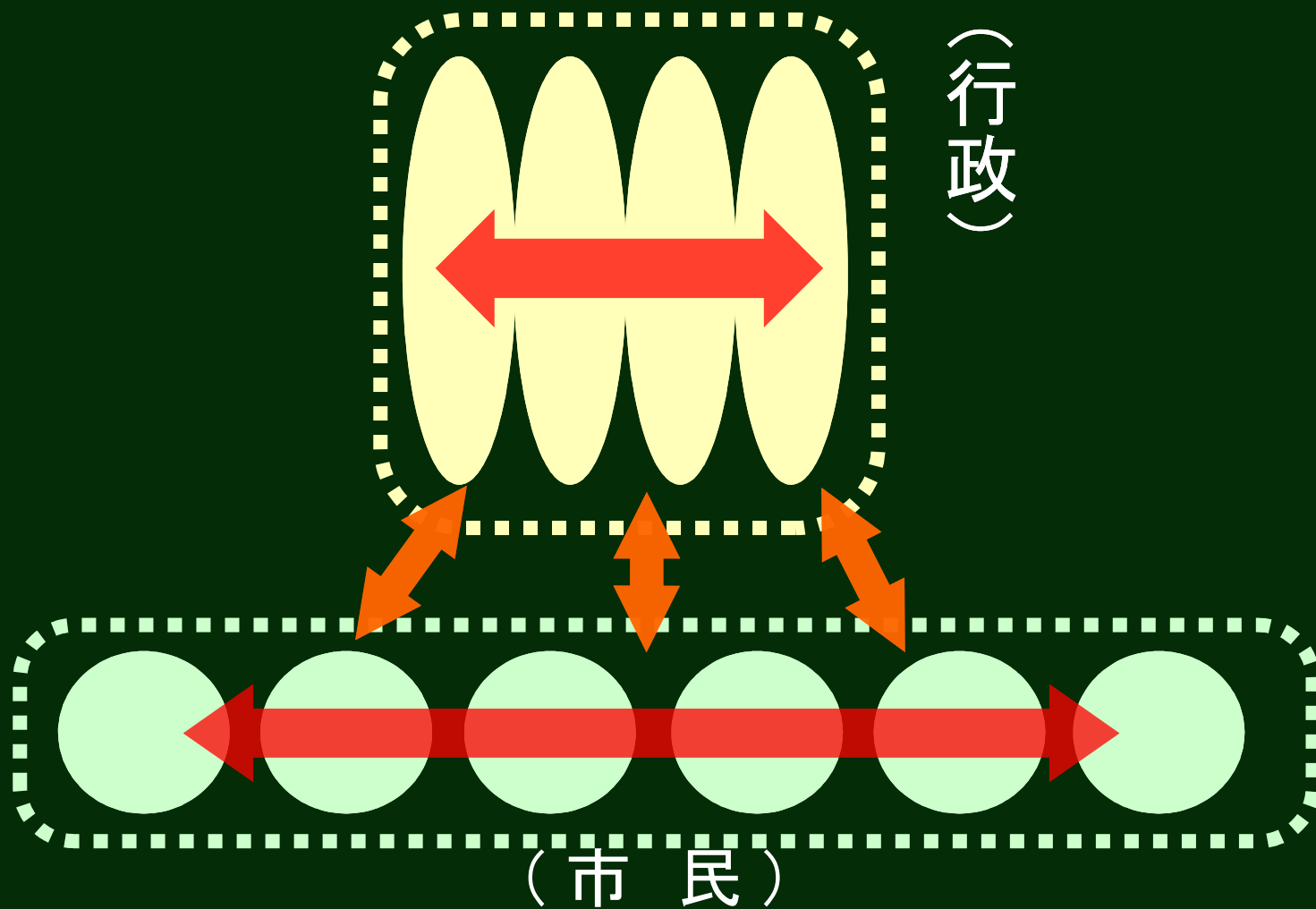


戦後の50年ほどは、「A」のために「B」を犠牲にしてきた(顧みなかった)

マスタープランの役割

街づくりに関わる者が
街づくりに関する
情報と価値観を共有する

誰と誰が共有するのか



何を共有するのか

都市の現状と課題



都市の将来に関する夢
都市環境に関する価値観



都市の整備・開発・保全の方向性



短中期の行動目標

共有すると何が良いのか

- 行政部内では、関係部局の連携が図られ、効果的な施策の実施と効率的な財政運営が実現する。
- 市民同士の街づくり活動に関する協力関係が組みやすくなる。
- 行政と市民の協働の方向（何のために何をするか）が見えてくる。

さて、葛飾区では？

都市計画マスタープランは、目配り良く今後の進むべき方向が示されている

しかし、区民の目から見るとやや遠い存在
(再開発や道路整備などに直接関係する地区の方々を除いて)

どちらかというと、行政が取り組むべき内容が中心的に表現されている

行政と区民が協働してやれるプロジェクト的取組をクローズアップすることが有効

それは何か？

- ・どんな区民でも関わることができ
- ・今、強く必要とされている

歩く環境を整え、その質を上げ
「街中(まちじゅう)快適歩行都市」
を実現すること

街の
歩行空間

発見、驚き、観察の場所

人々のコミュニケーションの場所

遊びと健康づくりの場所

これが都市のアイデンティティを育み、
愛着の持てる都市をつくる

②沿線に「物語」を

堀切地区まちづくり推進協議会の アプローチが面白い

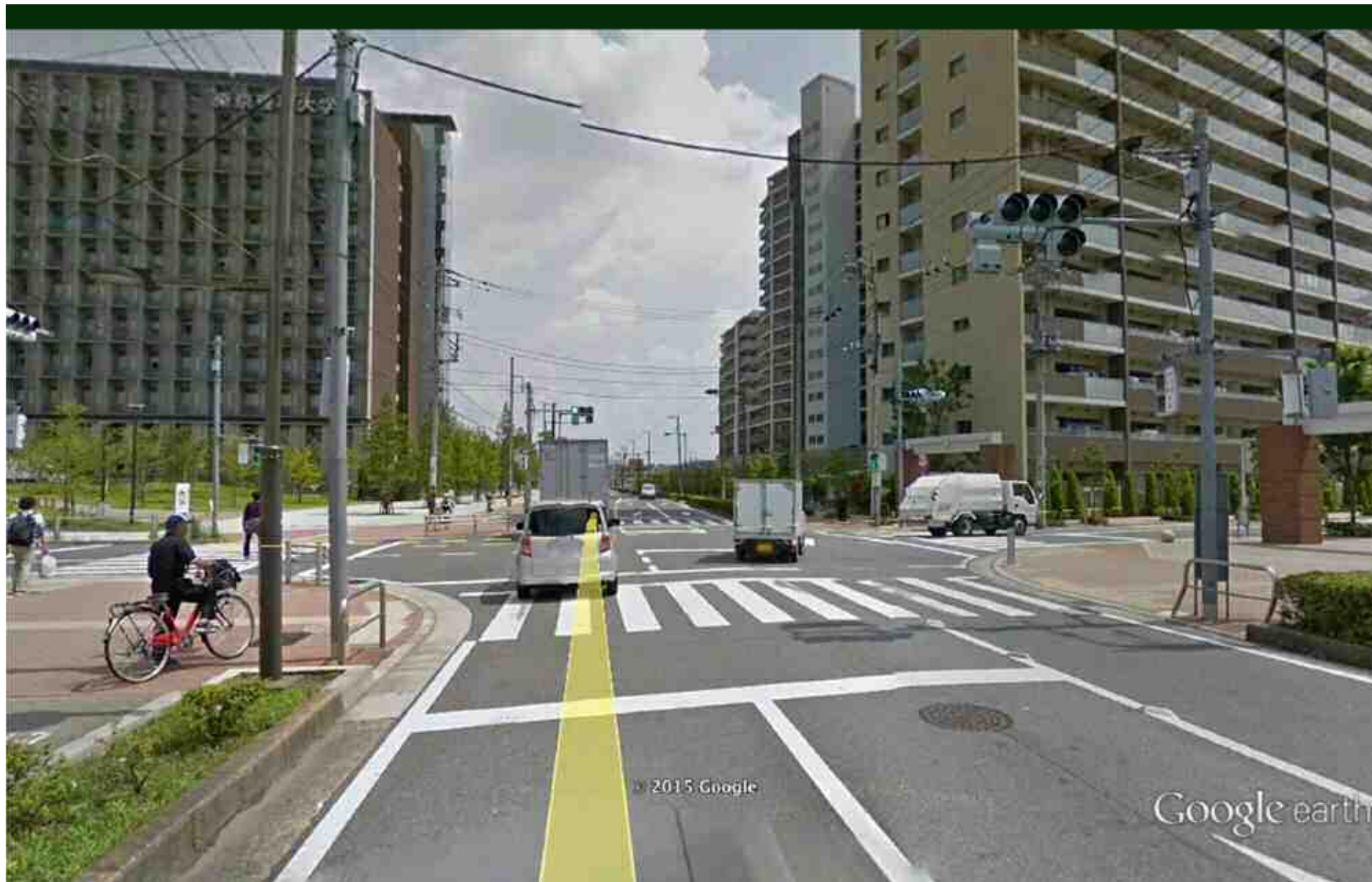


古い歴史だけではなく、若手建築家の設計建物なども「物語」の素材

③沿道の景観

行政の景観政策も「物語」を意識し、区民も沿道を開く努力を





大規模開発で整った沿道景観

街路樹の充実がテーマ

④道路構造、交通規制

道路構造の改変は一方通行化などとセットでなければ通常困難

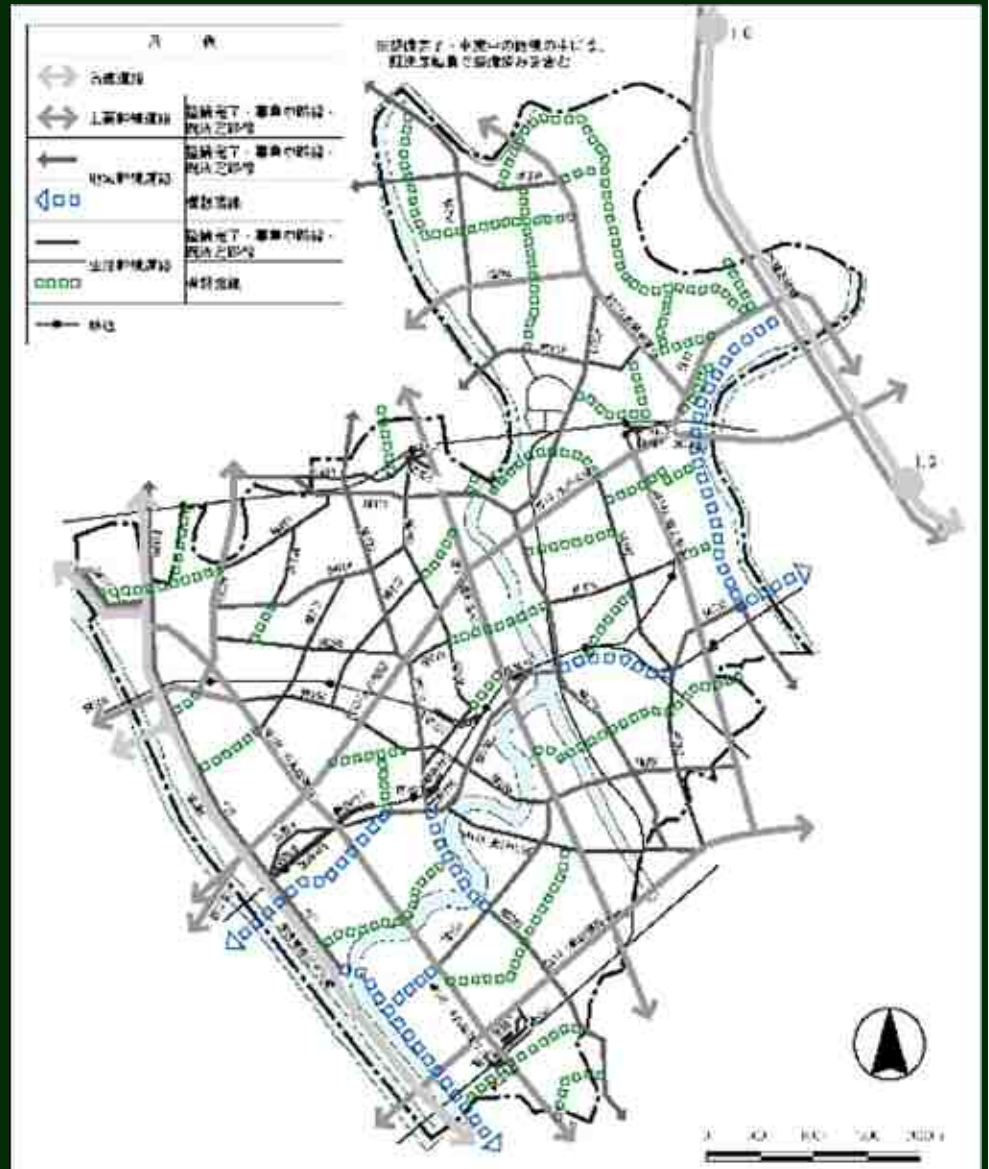


一方通行化は威力がある。しかし、沿道区民の協力と理解が不可欠

葛飾区は「街中(まちじゅう)歩行快適都市」の条件がそろっている

河川と大公園に恵まれ

道路は“クセ”だらけ



10人集まれば、「まちづくり活動団体」が登録でき、区からの支援を得られます。

「街中(まちじゅう)歩行快適都市」を目指して、家の周りの好きな散策ルートを図面化するところから始めましょう。

それが都市計画マスタープランに内実を与えることになります。

ご清聴ありがとうございました